

Title	プロフィットゾーンの獲得とビジネスデザインの再構築
Sub Title	
Author	浅野, 智美(Asano, Tomomi) 磯辺, 剛彦
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2009
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2009年度経営学 第2393号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002009-2393

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	磯辺 剛彦 研究会	学籍番号	80830044	氏名	浅野 智美
(論文題名)					
プロフィットゾーンの獲得とビジネスデザインの再構築					
(内容の要旨)					
<p>現在、企業を取り巻く環境は劇的に変化している。かつてマーケットシェアの拡大が利益の増大と結びついていた時代では、規模の経済やポジショニング戦略が最も重要であった。しかし、グローバル化やIT技術の発展、顧客や市場の成熟化などにより、規模の経済から製品・サービスのイノベーション、そしてビジネスデザインのイノベーションによる競争へと競争次元が移り変わり、目に見える競争から目に見えない競争へと進化してきた。同時に、環境の変化に伴い、既存の戦略理論との整合性がなくなりつつある。では、新しい視点で新たなルールを構築し、高い利益を生み出す仕組みとは、どのようなものなのであろうか。</p> <p>本研究の目的は、企業のプロフィットゾーンを獲得するビジネスデザインの創造的破壊と再構築のために、有効性の高いフレームワークを導出することである。</p> <p>研究方法として、ビジネスデザインのリモデルおよびイノベーションに成功した企業の事例を、バリューチェーンを軸に検討し、その事例を用いて、提示したフレームワークの有効性について議論するものとする。</p> <p>プロフィットゾーンを生み出すビジネスデザインのフレームワークでは、アフターマーケットモデル、コストイノベーションモデル、ソリューションモデル、プラットフォームモデルの4つのモデルに分類し、各々のビジネスデザインの構成要素や戦略的特徴について事例とともに考察するものとする。</p>					